

大阪市立 加美東小学校

**住所** 〒547-0002 大阪市平野区加美東 5-9-25**連絡先** ☎ 06-6793-0725 ☎ 06-6793-4175**校長** 奥 雅裕 **開校** 昭和 52 年度**URL** <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751741>

教育目標

「たくましい子 なかよくする子 考える子」 知的好奇心に満ち、豊かな心で学びや育ちを志向する子どもたちを育てる。

重点目標

教育方針

豊かな心で互いに認めあい、よりよい学級・学校を築いていこうとする子どもたちを育てる。

運営に関する計画

【概要】

本校の学校教育目標には、「子どもたちが人と人とのつながりを大切に、夢や希望を持って力強く生き抜いて欲しい」という開校以来の願いが込められています。この目標を達成するために、子どもたちの「基礎・基本の学力の向上を図る」とともに、「知的好奇心を高め、より豊かに生きる」ことができるように学校総がかりで教育活動に取り組んでいます。また、その土台となる「健全で前向きな人間関係の育成」や「コミュニケーション力の向上」、さらに「学んだことを活用していく力」等も育てていくよう努めています。

【中期目標】

【取組内容：安全・安心な教育の推進】

学校アンケートの「安全で安心できる学校」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にします。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校アンケートの「知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめる、多様化する社会を生き抜く力を育成する」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にします。

【学びを支える教育環境の充実】

学校アンケートの「教育の充実」にかかわるすべての項目において、肯定的回答の割合を令和7年度末までに90%以上にします。

【年度目標】

【取組内容：安全・安心な教育の推進、学びを支える教育環境の充実】

- ・互いを認め合い、より良い集団をめざす子どもを育てる。
- ・子どもたちが健やかに成長できる教育環境を整備し、活用を図る。
- ・人権教育の推進とキャリア教育の充実を図り、自己肯定感・自己有用感のある子どもを育てる。

【取組内容：未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・知的好奇心を高める授業や取り組みをすすめるとともに、国語力を向上させる。
- ・グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開を工夫し、友だちと一緒に活動したり運動したりすることで楽しさを味わわせ、運動に対する意欲を高める。自分の身体や健康に対する意識を高める。

【取組内容：学びを支える教育環境の充実】

- ・人材の確保・育成と柔軟な組織づくりに努めるとともに、教職員の働き方改革を推進する。
- ・日常的に子どもたちがICTを主体的に活用し、多様な情報を選択・活用しながら情報活用能力を高めるとともに、子どもたちの表現力や学びに対する育成につなげる。

校長先生からのメッセージ

本校は、今年で創立49年目を迎えました。本校には、40周年時に作成した副読本「わたしたちの町 加美東」があります。本校は、「知的好奇心を高め自主的に学ぼうとする意欲や態度」を養っていこうと全教職員一丸となって取り組んでいます。そこでここ数年、図書室や中庭の整備およびトイレの大改装に取り組んできました。全く新しい発想でつくった図書室は、子どもたちに大人気です。また、中庭には「アウトドア学習室」があります。放課後、子どもたちが中庭で顔を寄せ合って学習する姿はとても微笑ましいものです。低学年のトイレを改装して、「怖くない、明るい、入りやすいトイレ」を実現し、その後、宇宙や世界をイメージしたトイレ、自然を豊かに感じられるトイレ、落ち着いた雰囲気的美術館風のトイレ、世界の景色を車窓から望むようなトイレを実現してきました。このような楽しい施設づくりと共に、「知的好奇心を高める授業」の実現をめざして毎日頑張っております。「入学してよかった」「この学校で勉強していきたい」と子どもたちが思え、「子どもたちがキラリと光る学校」をめざしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 奥 雅裕

R6年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率(%)
69	67	

●結果と概要／

国語科の平均正答率は69%で、全国の平均(67.7%)と比較して1.3ポイント、大阪市の平均(66%)と比較して3ポイント上回っている。算数科の平均正答率は67%で、全国の平均(63.4%)と比較して3.6ポイント、大阪市の平均(62%)と比較して5ポイント上回っている。国語科の平均無解答率は1.9%で、全国の平均(4.2%)と比較して2.3ポイント、大阪市の平均(3.3%)と比較して1.4ポイント少なかった。算数科の平均無解答率は2.2%で、全国の平均(3.4%)と比較して1.2ポイント、大阪市の平均(3.2%)と比較して1.0ポイント少なかった。学校全体として落ち着いた学習環境となっており、また、意欲的に学習活動に取り組む児童が多く、学力については、ここ数年で大阪市平均や全国平均に迫る上昇傾向がみられ、学習の定着がみられるようになってきている。

●取組の成果と課題／

〔国語〕前年度は研究テーマとして「国語の基礎的な力の向上」を掲げ、国語の基礎的な力を「語彙力」「漢字の力」「文章を書く力」「自分の意見を述べる力」の4つと仮定し、重点を置いて取り組んできた。全体の平均正答率、学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項」「(2)情報の扱い方にに関する事項」で全国平均を上回ることができた。昨年度より研究テーマとした、これまでの本校の課題であった「書くこと」の領域については、大阪市平均を上回り、全国平均と同率であった。しかし、「(3)我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」では、大阪市平均と全国平均共に下回っており、前回調査に引き続き本校における国語科の課題であることが明らかになった。文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを話し合ったり、文章をまとめ、読む力が向上するよう、指導の充実を図っていく必要がある。

〔算数〕「数と計算」「図形」「データの活用」の各領域においては、正答率が大阪市平均・全国平均共に上回ることができた。特に図形のすべての問題で大阪市平均・全国平均を上回ることができた。一方、「変化と関係」の「速さなど単位量あたりの大きさ」について3問中2問が大阪市平均・全国平均を下回る結果となった。単位量あたりの大きさを用いて比べるにより能率的に比べられることを理解し、単位量あたりの大きさを用いて比べられることができるよう、指導の充実を図っていく必要がある。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	13.29	17.32	27.71	34.42	38.39	9.79	155.53	20.03	46.92
女子	14.68	16.83	36.16	32.00	27.84	9.98	145.48	12.96	49.46

●結果と概要／

男女共に種目別に比べると、大阪市・全国を下回る結果となる種目もあった。しかし、男子は立ち幅とびにおいて、全国、大阪市の記録を上回った。女子は立ち幅とびにおいて、全国、大阪市の記録を上回り、ソフトボール投げにおいて大阪市の記録を上回る結果であった。また、立ち幅とびに関しては男女共に昨年度に引き続き上回る結果となっている。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答に関して、肯定的な回答を示した割合は男子が97.4%(大阪市93.4%・全国93.2%)、女子が84.6%(大阪市84.5%・全国86.2%)であった。1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒は、男子2.6%(大阪市11.0%・全国9.2%)、女子15.3%(大阪市19.9%・全国16.0%)であった。

●取組の成果と課題／

これまで、「運動やスポーツをすることが好きだ」と考える児童が増えるよう、次のような取り組みを進めてきた。①グループ活動を積極的に取り入れた体育科の授業展開の工夫。②休み時間に教員と児童と一緒に遊ぶことを意識的に行う。③全校児童参加のかけあし週間やなわとび週間、集会活動の中で運動に対する意欲を向上させる取り組みの実施。これらを実践していくことで、学校アンケートの結果では「体を動かすことやスポーツをすることは好きですか」の質問項目において、肯定的な回答が91%だった。これは一定の成果といえる。一方で、今回の運動能力調査において体力や運動技術の低下が課題であることが分かった。運動に関して、楽しむことは好きだが、上達しようとする意欲は少ないと感じられる。今後も教員研修を通じて指導力の向上を図り、運動に親しみながら楽しく活動できる取り組みを継続し、運動技術が向上できるよう指導の工夫を図っていく。

学校の特徴



落ち着いた美術館風トイレ



本を手にとりたくなるような図書室



アウトドア学習室としての中庭

遺跡資料館のある学校

本校には、「加美遺跡資料館」という、全国的にも珍しい施設が設置されています。弥生時代、本校の校地一体には大きな集落が点在していました。本校建設時に発掘された多くの貴重な遺物や、そのレプリカ等が遺跡資料館に展示されています。ときおり遠隔地からも見学者が訪れることもあります。本校では、歴史学習等で資料館を活用して、壮大な歴史について思いを馳せたり、郷土愛を育んだりする機会を設けています。



本に親しむ環境づくり

子どもたちが本に親しみやすい環境をつくるため、本校では様々な取り組みをしています。

1つ目は、「図書室の環境整備」です。子どもたちが読みたいような本を購入し、本を読みやすいように並べたり、本の紹介文を書いて掲示したりするなど、様々な工夫をしています。また、子どもたちにとって魅力的な図書室にしようと改装を行いました。子どもたちからは、「とても綺麗になった」「図書室でずっと本を読んでいたい」など、うれしい感想の声が聞かれます。



2つ目は、保護者の方々による「図書ボランティア」です。ボランティアの方々が休み時間に図書室を開放して下さり、子どもたちが本に親しむ活動の充実が図られています。

3つ目は、平野区が推奨する「ひらちゃん読書ノート」の活用です。ノートを使ってさらに読書への意欲を高めようとして取り組んでいます。

子ども達の情操を豊かに育む学校施設

中庭には、「アウトドア学習室」として、大きなテーブルと椅子が設けられ、休み時間や放課後に子どもたちが読書や宿題をしています。また、各階のトイレを魅力あるトイレに大改修しました。



地域とともに子どもを育む

本校では、地域の方々による子どもたちの健全育成活動が活発におこなわれています。老人会を中心とした登下校時の「見守り隊」の活動により、子どもたちの安全が守られています。また保護者の方々による「図書ボランティア」もおこなわれ、子どもたちの読書活動をサポートしています。

そして、PTA活動として、「PTA サッカースクール」などが行われ、健全育成の精神に基づいたトレーニングを実施しています。年に数回、他校やクラブチームと交流試合をするなど、楽しく活動しています。

